



糸井文庫 第8回

海辺の京都
 浮世絵コレクション

大江山酒吞退治

(おおよやましめてんたいじ)

【絵師】歌川芳艶(年代 安政5(1858)年
 【大きさ】3枚合わせ(1) 35・7センチ×74・8センチ
 ※実物は12月28日迄までふるさと発見館(郷土資料館)で展示中

酒呑童子伝説のクライマックス、酒呑童子が源頼光とその家来の四天王たちによって退治される場面です。

首はねられ、頭部だけになっても文字通り鬼の形相で口から火炎を吐きながら頼光たちに襲いかかる酒呑童子。あまりの迫力に配下の鬼たちまで逃げ出そうとしています。

画面左で鎧兜に身を固め、刀を振り上げるのが頼光。その隣で金棒をふるって必死に防戦する赤ら顔の武者は、四天王のひとり坂田金時こと「金太郎」が大人になった姿です。鬼の力を封じる「神便鬼毒酒」を飲まされ、自由を奪われたところを襲われた酒呑童子。最期の言葉は「鬼神に横道なきものを」(鬼は卑怯なことなどはしないの)にだったといわれています。

Our community

夢中になる時間

自治会・ボランティア団体・学校・サークル団体などの活動を紹介

大浦女性の会

「大浦女性の会」は、大浦地区の女性が交流で親睦を深め、住みよい地域づくりを進めることを目的に、平成28年に結成しました。現在8人の世話役が中心となって地区全体の女性に参加を呼び掛けています。

女性だけの「おしゃべり会」や親子行事の「もちつき交流会」、手芸や料理教室など、大浦会館の事業に参加するほか、今年度は、地区の自治会が中心に活動する「大浦振興協議会」にも加入し、さらに活動の場を広げています。

また、平成29年度の特健診の結果から、大浦地区では血圧が高い人が多いことを知り、地域の旬の野菜や魚をおいしく食べて健康になってほしいと「減塩レシピ」を考案。10月28日に行われた「大浦ふれあいサンデー」では、地域の皆さんに「大浦鍋(減塩鍋)」を振る舞いました。

女性の元気が地域の元気に。これからも大浦地区の女性が生き生きと輝いて暮らしていくための生活提案と交流の場づくりを通じて、地域の活性化に取り組んでいきます。

【問い合わせ先】

大浦会館(☎68・2010)



掲載団体を随時募集中 自治会・ボランティア団体・学校・サークル団体などの活動を紹介します(応募多数の場合選考)。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto/uketsuke/dform.do?asc=maizuru>

